

組合員対象「奨学金制度に関するアンケート」の集計状況

文責：加藤有貴

1. はじめに 調査概要とサンプル特性について

<調査概要>

調査実施期間	2016年11月16日～12月28日
調査対象	全国の国公立および私立大学の学部学生・院生
回収数	1,745
有効回答数	1,727

<サンプル特性>

Q1

性別	(人・%)	
	実数	構成比
男性	851	49.3%
女性	876	50.7%
総計	1727	100.0%

Q2

大学設置者別	(人・%)	
	実数	構成比
大学設置者		
国公立	1184	68.6%
私立	543	31.4%
総計	1727	100.0%

Q2

学校種別	(人・%)	
	実数	構成比
学校種別		
大学	1708	98.9%
短期大学	14	0.8%
高等専門学校	5	0.3%
総計	1727	100.0%

Q3

学年別	(人・%)	
	実数	構成比
学年		
1年	615	35.6%
2年	488	28.3%
3年	319	18.5%
4年	237	13.7%
5年以上	14	0.8%
院生	54	3.1%
総計	1727	100.0%

Q4

住まい別	(人・%)	
	実数	構成比
住まい		
自宅通学	601	34.8%
下宿(アパート)	1031	59.7%
寮生	95	5.5%
総計	1727	100.0%

2. 奨学金制度の利用について

Q6

奨学金制度の利用	(人・%)	
	実数	構成比
利用している 計	971	56.3%
利用していない	750	43.5%
わからない	5	0.3%
総計	1726	100.0%

以下、Q10まで、「利用している」971名の回答

Q6

利用の内訳	(人・%)	
	実数	構成比
貸与型(有利子)	391	40.3%
貸与型(無利子)	401	41.3%
貸与型(無利子・有利子併用)	116	11.9%
給付型	29	3.0%
貸与型・給付型併用	34	3.5%
総数	971	100.0%

Q7

利用の目的(3つまで選択可)	(人・%)	
	実数	割合
授業料を賄うため	666	68.6%
生活費を賄うため	677	69.7%
学校(高校・大学)の先生に勧められたから	46	4.7%
親が勧めたから	407	41.9%
給付型だったから	35	3.6%
高額商品の購入や特別な支出	38	3.9%
特に用途を決めていない	35	3.6%
知らない・わからない	2	0.2%
その他	29	3.0%
回答人数	971	

Q8

月の貸与額(または給付額)	(人・%)	
	実数	構成比
0~3万円未満	49	5.1%
3万~5万円未満	325	33.6%
5万~8万円未満	329	34.1%
8万~10万円未満	110	11.4%
10万~12万円未満	61	6.3%
12万~15万円未満	39	4.0%
15万円以上	19	2.0%
わからない	34	3.5%
総数	966	100.0%

Q9

返済の見通し	(人・%)	
	実数	構成比
立っている	451	47.3%
立っていない	477	50.0%
返済の必要がない	26	2.7%
総数	954	100.0%

Q10

制度を利用しているの不安 (2つまで選択可)	(人・%)	
	実数	構成比
漠然とした不安がある	459	47.3%
返済できるか	721	74.3%
結婚への影響	216	22.2%
考えたことがない	51	5.3%
その他の不安がある	53	5.5%
不安はない	75	7.7%
回答人数	971	

3. 経済状況について

以下、全員回答

Q11-A

仕送り額	(人・%)	
	実数	構成比
0円	585	34.3%
1～3万円未満	433	25.4%
3万～5万円未満	282	16.5%
5万～8万円未満	209	12.3%
8万～10万円未満	99	5.8%
10万～12万円未満	43	2.5%
12万～15万円未満	4	0.2%
15万円以上	8	0.5%
わからない	43	2.5%
総数	1706	100.0%

Q11-B

奨学金	(人・%)	
	実数	構成比
0円	740	43.7%
1～3万円未満	64	3.8%
3万～5万円未満	326	19.3%
5万～8万円未満	313	18.5%
8万～10万円未満	102	6.0%
10万～12万円未満	49	2.9%
12万～15万円未満	34	2.0%
15万円以上	18	1.1%
わからない	47	2.8%
総数	1693	100.0%

Q11-C

アルバイト	(人・%)	
	実数	構成比
0円	324	19.0%
1～3万円未満	489	28.6%
3万～5万円未満	460	26.9%
5万～8万円未満	335	19.6%
8万～10万円未満	70	4.1%
10万～12万円未満	11	0.6%
12万～15万円未満	5	0.3%
15万円以上	2	0.1%
わからない	13	0.8%
総数	1709	100.0%

Q11-D

その他	(人・%)	
	実数	構成比
0円	1408	84.3%
1～3万円未満	184	11.0%
3万～5万円未満	19	1.1%
5万～8万円未満	6	0.4%
8万～10万円未満	3	0.2%
10万～12万円未満	0	0.0%
12万～15万円未満	1	0.1%
15万円以上	4	0.2%
わからない	45	2.7%
総数	1670	100.0%

Q12

週のアバイト時間	(人・%)	
	実数	構成比
1～5時間未満	249	14.4%
5～10時間未満	369	21.4%
10～15時間未満	342	19.8%
15～20時間未満	232	13.5%
20～25時間未満	114	6.6%
25～30時間未満	38	2.2%
30時間以上	24	1.4%
していない	356	20.6%
総数	1724	100.0%

4. 大学に関すること

Q13

大学進学のための目的(2つまで選択可)	(人・%)	
	実数	構成比
専門的な知識を身に着ける	1269	73.5%
職業的スキルを身に着ける	383	22.2%
学歴や資格を得る	758	43.9%
自分の才能を伸ばす	366	21.2%
高所得を得るため	428	24.8%
自由な時間を楽しむ	166	9.6%
周りの人が進学するから	426	24.7%
親が進学を進めたから	92	5.3%
実家を出たかったから(一人暮らしをしたかったから)	77	4.5%
都会に行きたかったから	58	3.4%
大学生活が楽しそうだったから	35	2.0%
新しい出会いがあると思ったから	132	7.6%
交換留学など海外経験ができるから	35	2.0%
就職しやすいと思ったから	87	5.0%
なんとなく	240	13.9%
回答人数	1727	

Q14

国公立大学の学費 (授業料、入学金など)は高いと思うか	(人・%)	
	実数	構成比
1. そう思う	529	30.7%
2. ややそう思う	580	33.6%
3. あまりそう思わない	443	25.7%
4. 全くそう思わない	86	5.0%
5. わからない	87	5.0%
総数	1725	100.0%

Q15

国公立大学の学費は、国や自治体ではなく、 学生やその親が負担すべきだと思いますか	(人・%)	
	実数	構成比
1. そう思う	138	8.0%
2. ややそう思う	322	18.7%
3. あまりそう思わない	745	43.2%
4. 全くそう思わない	396	23.0%
5. わからない	124	7.2%
総数	1725	100.0%

Q16

私立大学の学費 (授業料、入学金など)は高いと思うか (人・%)		
	実数	構成比
1. そう思う	1332	77.2%
2. ややそう思う	245	14.2%
3. あまりそう思わない	74	4.3%
4. 全くそう思わない	30	1.7%
5. わからない	44	2.6%
総数	1725	100.0%

Q17

私立大学の学費は、国や自治体ではなく、 学生やその親が負担すべきだと思いますか (人・%)		
	実数	構成比
1. そう思う	402	23.3%
2. ややそう思う	518	30.0%
3. あまりそう思わない	514	29.8%
4. 全くそう思わない	172	10.0%
5. わからない	119	6.9%
総数	1725	100.0%

5. 奨学金に関する情報の認知や考

Q18

	実数		構成比	
	知っている	知らない	知っている	知らない
A 先進諸国の中で、大学の学費が高額で、かつ公的な給付型奨学金(返済する必要がない奨学金)制度がないのは日本だけである	896	830	51.9%	48.1%
B 現在、大学生の約半数が奨学金を利用している	1208	518	70.0%	30.0%
C 奨学金の返済を理由とし、結婚や出産をためらう人も少なくない	1099	627	63.7%	36.3%
D 奨学金が返済できない場合、親や親類に返済義務が及ぶことがある	1301	424	75.4%	24.6%
E 理系学部の大学生は約3~4割が大学院に進学、6年制の薬学部、大学卒業後さらに2~3年の法科大学院など、大学以降の在学期間は4年標準ではなく、6~7年へと以前より長期化が進んでいる	990	736	57.4%	42.6%
F 財務省の国立大学・収入構造改革の方針にそって、文部科学省が出した試算では、2031年(15年後)には国立大学の授業料は現在より約40万円近く値上げされ、年間約93万円になると言われている	378	1348	21.9%	78.1%

Q19

	実数			構成比		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
A 奨学金制度利用時の、制度の説明は十分だと思いますか	599	591	536	34.7%	34.2%	31.1%
B 自分、もしくは恋人が奨学金を返済中であることが結婚に影響すると思いますか	800	517	408	46.4%	30.0%	23.7%
C 給付型奨学金制度の創設に賛成ですか	1323	99	303	76.7%	5.7%	17.6%
D 無利子奨学金の対象者拡大について賛成ですか	1360	123	242	78.8%	7.1%	14.0%

Q2

自習記述欄	(人・%)	
	実数	割合
なんらかの記述をしている方	384	22.0%